

2026年 第33週 8月10日～8月16日

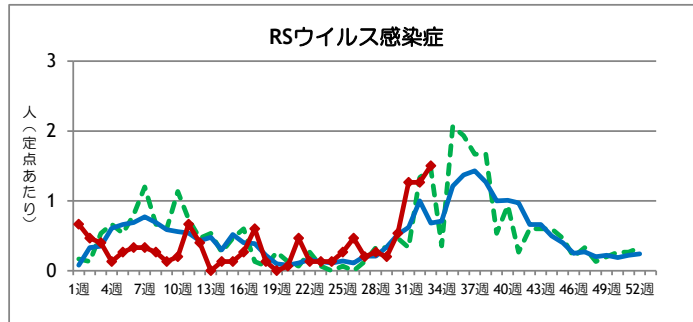
多摩小平保健所 感染症NEWS

注意してほしい感染症

〇RSウイルス感染症は増加傾向です。主な症状は発熱、鼻汁、咳、喘鳴で、乳児は気管支炎や肺炎を起こし重症化することがあります。手洗い、咳エチケット等の感染対策を心がけましょう。

※お盆期間のため休診や受診動向の変化が報告数に影響した可能性があります。

— 2025年東京都 — 2025年圏域 — 2026年圏域 数値は定点当たりの患者数



保健所からのお知らせ

夏に多い感染症：腸管出血性大腸菌感染症

ペロ毒素※を産生する腸管出血性大腸菌による感染症です。都内では年間300例以上報告があり、夏に増加する傾向があります。

（※ペロ毒素：腸管出血性大腸菌が産生し菌体外に分泌する毒素で、腸の上皮細胞などに作用し症状を起こすといわれています。）

＜症状＞ 2～9日ほどの潜伏期を経た後に、**激しい腹痛を伴う下痢、血便**をおこします。
乳幼児や高齢者が感染した場合は重症化しやすいといわれています。
発症後約5%が溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こすといわれており、死亡することもあります。また、感染しても発症しないこともあります。

＜感染経路＞ 菌に汚染された食品を摂取することにより感染します。
ヒトからヒトへの感染は、患者の便や菌のついたものに触れた後、手洗いを十分にできなかった場合などに起こります。
ヒトを発症させる菌数はわずか50個程度と考えられており、二次感染が起きやすい菌でもあります。

＜感染対策＞ 食品を十分加熱したり、調理後の食品は放置せず食べるといった注意が基本です。
乳幼児、高齢者などが感染し重症化するのを防ぐため、生肉又は加熱不十分な食肉を食べないよう配慮する必要があります。
ヒトからヒトへの二次感染を予防するために、**食事前、トイレ使用后、排泄介助作業後などには石けんと流水による手洗いを行うことが必要です。**
アルコール性の擦式消毒剤を追加使用するのも有効です。菌に汚染した可能性のある場所は、アルコールなどの消毒薬を用いて消毒することが肝要です。

（出典：東京都感染症情報センター）

★正しい手洗い方法を動画でご覧いただけます。
こちらをクリックすると該当ページをご覧くださいませ⇒

正しい手洗い方法 東京動画 検索

お問合せ 東京都多摩小平保健所保健対策課 感染症対策担当 〒187-0002 小平市花小金井1-31-24 TEL042-450-3111(代)